

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-165243

(43)Date of publication of application : 27.06.1995

(51)Int.Cl.

B65D 33/00

B65D 65/30

B65D 65/32

B65D 77/30

(21)Application number : 05-345733

(71)Applicant : SHINYOU KK

(22)Date of filing : 09.12.1993

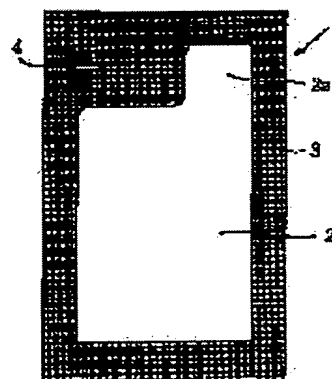
(72)Inventor : ISHII HARUO

(54) ENCLOSING BAG

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily and securely cut and open the discharge opening of a bottle-shaped sealed bag formed by a plastic film to contain a shampoo or a reinse.

CONSTITUTION: Plastic films having orientation property are superposed back to back and welded with heat. The outer periphery of a bag body 2 and the discharge opening 2a is enclosed with a square heat-welding part 3 in such a state that the discharge opening 2a is shifted to one side against the bag body 2, by use of the above material to form a bottle shaped sealed bag 1 retaining contents. An uneven surface to prevent slip when opening it with hands is formed at the heat-welding part 3 and a little longer one notch cut crossing at almost right angles with the discharge opening 2a is formed at the heat-welding part 3 of the wider area side corresponding to the discharge opening 2a.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 09.12.1993

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 19.03.1996

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

Best Available Copy

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-165243

(43)公開日 平成7年(1995)6月27日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 6 5 D 33/00

C

65/30

65/32

77/30

C

審査請求 有 請求項の数1 書面 (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平5-345733

(22)出願日 平成5年(1993)12月9日

(71)出願人 594013907

株式会社進洋

東京都荒川区西日暮里6-52-1

(72)発明者 石井 治夫

東京都荒川区西日暮里6-52-1 株式会

社進洋内

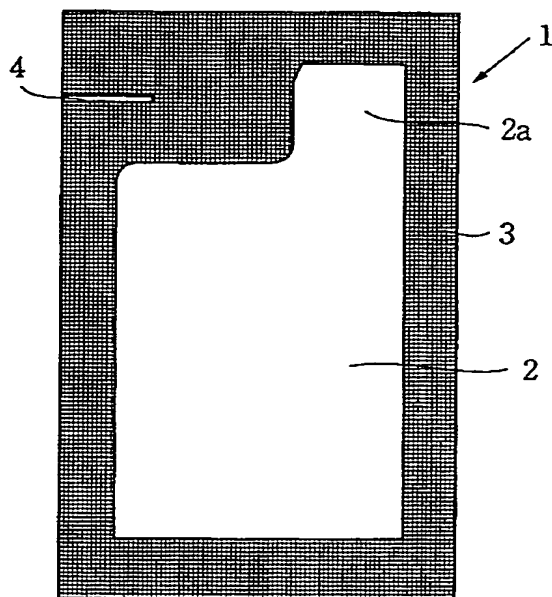
(74)代理人 弁理士 桜井 常洋

(54)【発明の名称】 密封袋

(57)【要約】

【目的】 プラスチックフィルムにより成形され、シャンプーやリンスを収容する瓶型の密封袋を、その排出口部の切断、開口が容易に、かつ確実に出来るようにする。

【構成】 配向性を有するプラスチックフィルムを背中合わせに重ねて一体的に熱熔着した材料を用いて、袋本体部に対して排出口部を一側に片寄せた状態で、袋本体部及び排出口部の外周を方形状の熱着部で密封して、収容物を収容した瓶型の密封袋を形成し、上記熱着部に、手で持って開口するときに滑りにくくなる凹凸面を形成すると共に、上記排出口部と対応する面積の広い側の熱着部に、排出口部とはほぼ直交する長めのIノッチからなる切り口を形成した。



1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 配向性を有するプラスチックフィルムを背中合わせに重ねて一体的に熱熔着した材料を用いて、袋本体部に対して排出口部を一侧に片寄せた状態で、袋本体部及び排出口部の外周を方形状の熱着部で密封して、収容物を収容した瓶型の密封袋を形成し、上記熱着部に、手で持って開口するときに滑りにくくなる凹凸面を形成すると共に、上記排出口部と対応する面積の広い側の熱着部に、排出口部とほぼ直交する長めの I ノッチからなる切り口を形成したことを特徴とする密封袋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、プラスチックフィルムにより形成され、例えばシャンプーやリンスを収容する瓶型の密封袋に関し、特にその排出口部の切断、開口が容易に、かつ確実に行えるように改良した密封袋に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、図 8 に示すように、プラスチックフィルムにより形成され、シャンプーやリンスを収容する密封袋 A が周知である。この密封袋 A は、長方形状の袋本体部 B の外周を、表面が滑らかで幅の狭い長方形状の熱着部 C で密封して、袋本体部 B 内にシャンプーやリンスを収容し、熱着部 C の一部に袋本体部 B と直交する方向に、長さの短い I ノッチまたは V ノッチからなる切り口 D を形成している。そして、密封袋 A を開封するときは、図 9 に示すように、両方の手 H で切り口 D の両側を持って切り口 D から切り裂いて、袋本体部 B からシャンプーやリンスを押し出して使用するようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、上記のように従来密封袋 A は、熱着部 C の幅が狭い上、その表面が滑らかであり、シャンプーやリンスを収容したものは濡れた手で扱うので、切り口 D が小さいと掴み難く、手 H の指が滑って切り口 D からの開封が難しい。また、切り口 D は熱着部 C の幅が狭いので切込みを大きく入れることができず、開封が難しくなる。さらに、切り口 D の開封が難しいので、袋本体部 B を少し切り開いた状態でシャンプーやリンスを押し出して使用することになり、適量押し出して使用するのが難しい、といった各種の問題点があった。

【0004】本発明は、上記の問題点を解決するためになされたもので、熱着部に指が滑りにくくなる凹凸面を形成し、排出口部と対応する熱着部の面積を広くし、排出口部とほぼ直交する長めの切り口を形成して、排出口部の切断、開口が容易に、かつ確実に行えるようにした密封袋を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するた

2

めに本発明は、配向性を有するプラスチックフィルムを背中合わせに重ねて一体的に熱熔着した材料を用いて、袋本体部に対して排出口部を一侧に片寄せた状態で、袋本体部及び排出口部の外周を方形状の熱着部で密封して、収容物を収容した瓶型の密封袋を形成し、上記熱着部に、手で持って開口するときに滑りにくくなる凹凸面を形成すると共に、上記排出口部と対応する面積の広い側の熱着部に、排出口部とほぼ直交する長めの I ノッチからなる切り口を形成したことを特徴とする。

【0006】

【作用】上記の構成によって本発明の密封袋は、配向性を有するプラスチックフィルムを背中合わせに重ねて一体的に熱熔着した材料を用いることにより、I ノッチの切り口方向にほぼまっすぐに切り開くことができる。また、袋本体部に対して排出口部を一侧に片寄せることによって、排出口部と対応して I ノッチの切り口を形成する熱着部の面積を広くすることができ、熱着部に凹凸面を形成することにより、熱着部を手で持って開封するときに指が滑りにくくなり、所望状態に開封できる。さらに、排出口部とほぼ直交する熱着部に長めの I ノッチからなる切り口を形成することにより、排出口部の開口が容易となって、シャンプーやリンスを所望量押し出して使用することができる。

【0007】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図面を参照して具体的に説明する。図 1 において、符号 1 は密封袋であり、この密封袋 1 は、配向性を有するプラスチックフィルムを背中合わせに重ねて一体的に熱熔着した材料を用いて、袋本体部 2 に対して排出口部 2 a を一侧に片寄せた状態で、袋本体部 2 及び排出口部 2 a の外周を方形状の熱着部 3 で密封して、シャンプーやリンスなどの収容物を収容した瓶型のミニバックを形成している。

【0008】上記密封袋 1 の熱着部 3 には、手で持って開口（開封）するときに指が滑りにくくなるようにした凹凸面が形成されている。そして、上記のように袋本体部 2 に対して排出口部 2 a を一侧に片寄せさせているので、上記排出口部 2 a と対応する部分の熱着部 3 の面積は、他の部分より広くなっており、この面積の広い熱着部 3 の部分に、排出口部 2 a とほぼ直交する長めの I ノッチからなる切り口 4 を形成している。

【0009】そして、図 2 に示すように、密封袋 1 を開封（開口）するときは、図 9 に示されているのと同様に、手の指で切り口 4 の両側の面積の広い部分の熱着部 3 を持って、I ノッチからなる切り口 4 から切り裂くようにして開口することになるが、本発明においては、手の指で持つ熱着部 3 部分の面積が広いので持ち易く、しかも熱着部 3 には凹凸面が形成してあるので、濡れた指で持っても滑り難く、また、密封袋 1 全体が配向性を有するプラスチックフィルムを背中合わせに重ねて一体的に熱熔着した材料により形成され、かつ長めの I ノッ

3

チからなる切り口4が排出口部2 aとほぼ直交するように形成されているから、切り口4から切り開くように力を入れたら、点線で示すように1ノッチの切り口4の方向に沿ってほぼまっすぐに切断され、排出口部2 aが容易に開口される。

【0010】従って、袋本体部2内に収容されたシャンプーやリンスを、排出口部2 aから所望量ずつ押し出して快適に使用することができる。また、図3に示すように、シャンプーとリンスを取容した2つの密封袋1を、

【0011】上記1ノッチからなる切り口4は、通常のものより長めに連続して形成されているので、この部分に不用意に外力が加わって切り開かれることがあるといけ

【0012】また、上記袋本体部2に連通する排出口部2 aの形状を、図5に示すように、その基部から先端部にかけて順次細くなるようにした排出口部2 bに形成してもよいものである。この場合には、排出口部2 bが開口されて、袋本体部2からシャンプーやリンスを押し出すとき、その押し出し量を適宜コントロールすることができる。

【0013】さらに、図6及び図7に示すように、上記熱着部3に形成される凹凸面の形状を、熱着部3で示したものと変えて、ひし形模様にした熱着部3 a (図6)、あるいは丸模様にした熱着部3 b (図7) などにしてもよいものである。これらは何れの場合も、濡れた指で持っても滑り難いもので、1ノッチからなる切り口4からの切り開きを容易にするものである。

【0014】

10

20

30

*

*【発明の効果】以上説明したように本発明の密封袋によれば、配向性を有するプラスチックフィルムを背中合わせに重ねて一体的に熱熔着した材料を用いて、袋本体部2に対して排出口部2 aを一侧に片寄せた状態で、袋本体部2及び排出口部2 aの外周を方形の熱着部3で密封して、収容物を収容した瓶型の密封袋1を形成し、熱着部3に、手で持って開口するときに滑りにくくなる凹凸面を形成すると共に、排出口部2 aと対応する面積の広い側の熱着部3に、排出口部2 aとほぼ直交する長めの1ノッチからなる切り口4を形成したので、手の指で切り口4の両側の面積の広い部分の熱着部3を持って、1ノッチからなる切り口4から切り開くとき、指が滑ることなく1ノッチの切り口4方向にほぼまっすぐに、容易に切り開くことができ、所望状態に開封することができる。そして、シャンプーやリンスなどの収容物を、袋本体部2から排出口部2 aを介して所望量押し出して使用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による瓶型密封袋の平面図である。

【図2】同開封状態の説明図である。

【図3】本発明の密封袋の応用例の平面図である。

【図4】(a)及び(b)はそれぞれ切り口の他の実施例を示す平面図である。

【図5】排出口部の他の実施例の平面図である。

【図6】熱着部の他の実施例の平面図である。

【図7】熱着部のさらに他の実施例の平面図である。

【図8】従来の密封袋の平面図である。

【図9】同開封状態の説明図である。

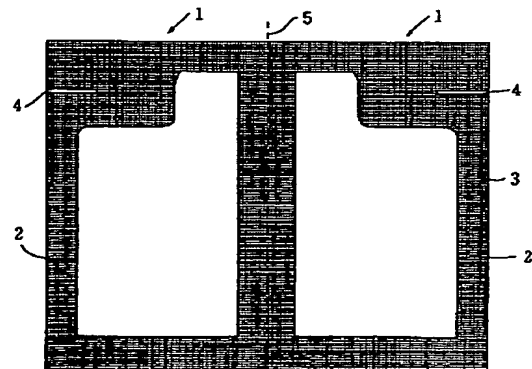
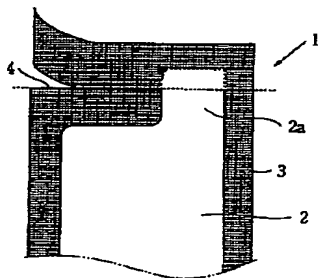
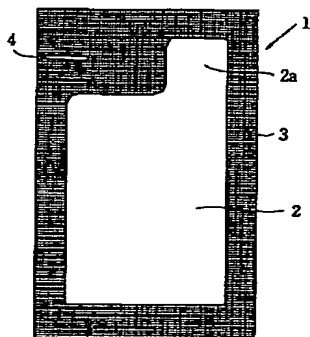
【符号の説明】

- 1 密封袋
- 2 袋本体部 2 a, 2 b 排出口部
- 3, 3 a, 3 b 熱着部 (凹凸面)
- 4, 4 a, 4 b 切り口
- 5 ミシン目

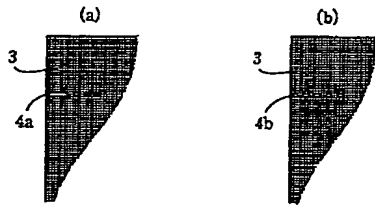
【図1】

【図2】

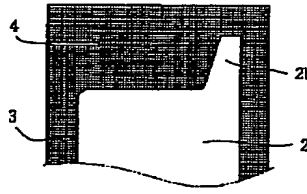
【図3】



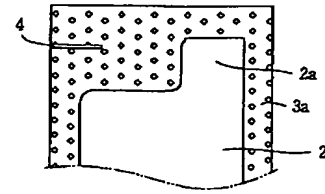
【図4】



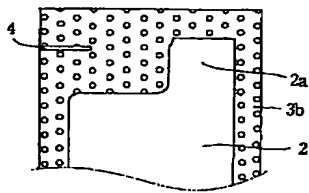
【図5】



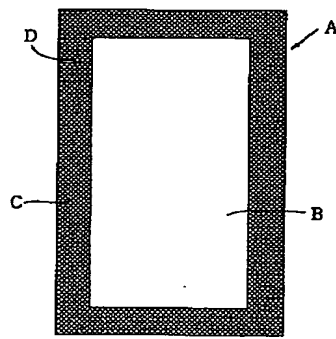
【図6】



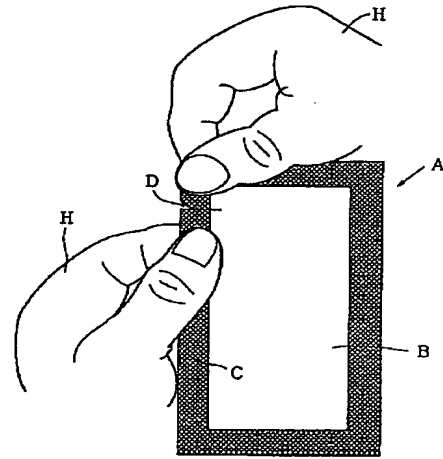
【図7】



【図8】



【図9】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☒ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☒ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.